

2003年6月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、大西洋北部からヨーロッパ、シベリアにかけては南北蛇行が大きく、波列状の偏差が分布し、大西洋北部とロシア西部では負偏差、ヨーロッパとシベリアの90°E付近では正偏差となった。中国東部付近はトラフ場で負偏差となった。太平洋から北アメリカにかけては弱いながら波列状の偏差がみられた。北アメリカでは西岸付近とカナダ東部で正偏差となった他は負偏差に覆われた。大西洋の30°N付近は帯状に正偏差が分布した。

対流活動は、インド洋西部で平年よりかなり活発となった。一方、スマトラ島の南西沖からニューギニア島にかけては平年より不活発となった。アジアモンスーン域については、ベンガル湾の北部、中国南部、フィリピン北部では平年よりやや活発、ベンガル湾、インドシナ半島南部からフィリピン南東海上にかけては不活発という分布になった。太平洋のITCZ(熱帯収束帯)の対流活動は、3月以降平年より活発だったが、今月は平年並か平年より不活発となった。日付変更線付近は平年より不活発だった。また、アフリカ、中米、南アメリカの対流活動は平年より活発となった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図では、ベンガル

湾から太平洋西部にかけての大規模な発散域の中心は平年より5度程度ずつ北寄りかつ西寄りだった。

SOI(南方振動指数)は-0.9となった。

世界の天候

① 中央アジアの低温・多雨

② インドの高温

5月中旬から6月上旬の熱波により、インドでは1500人以上の死者が報じられた。

③ ヨーロッパからアフリカ北部の高温

セルビアとクロアチアで熱射病などであわせて6人が死亡したと報じられたほか、イタリアでは冷房などの需要増加により電力不足となり各地で停電が起きたと伝えられた。

④ ヨーロッパ中部から南部の少雨

⑤ 米国北東部の低温

⑥ 米国東部からユカタン半島の多雨

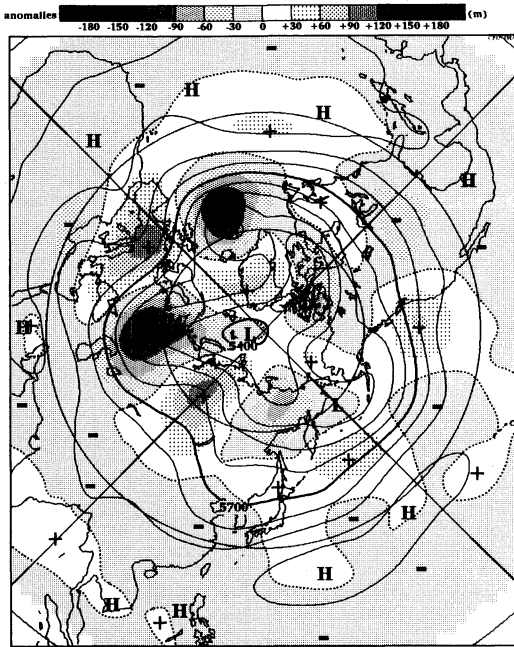
⑦ ベネズエラからブラジル北西部の高温

⑧ ブラジル北部からペルーの多雨

⑨ アルゼンチン北部の高温

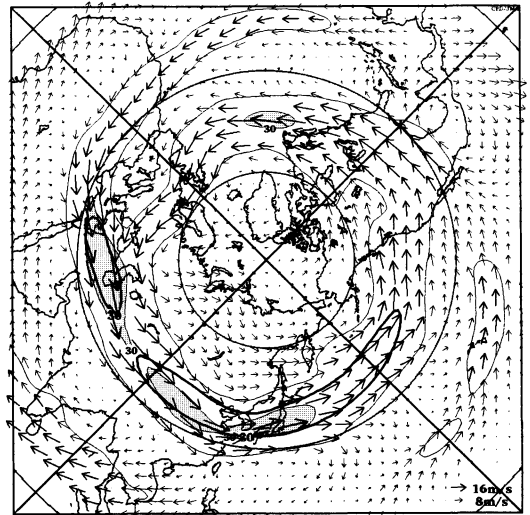
⑩ オーストラリア南東部からニュージーランドの高温

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 川崎 孝)



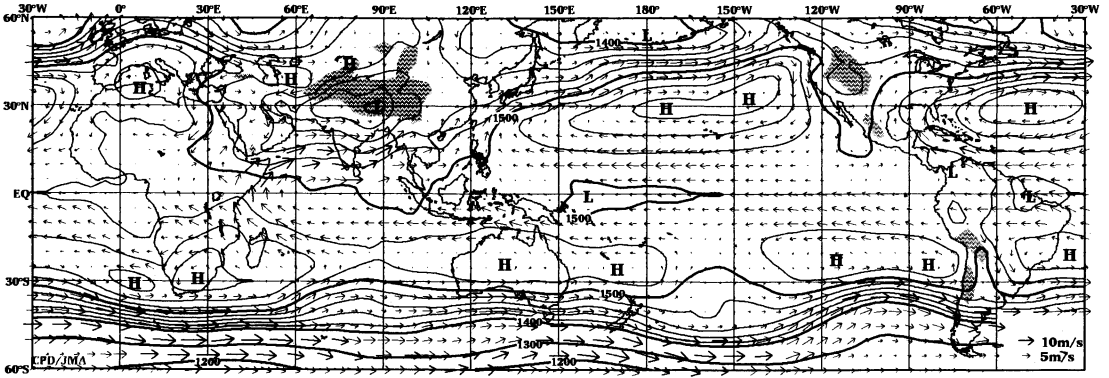
2003年6月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は30 m, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

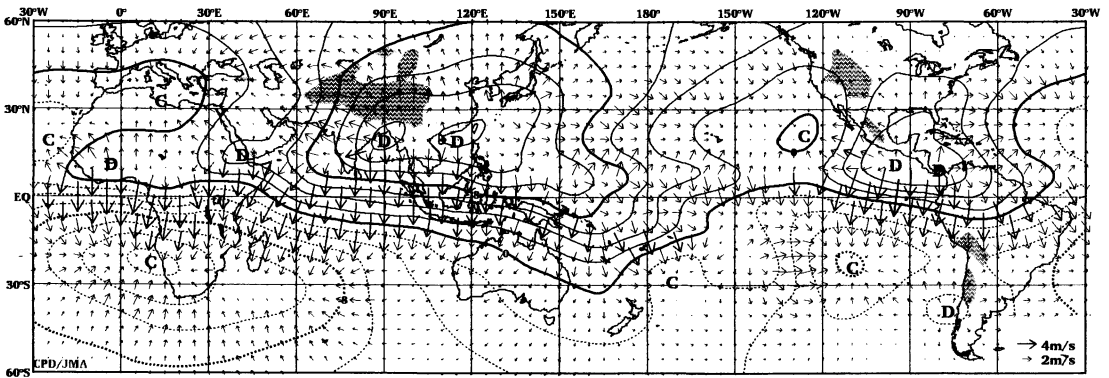


2003年6月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

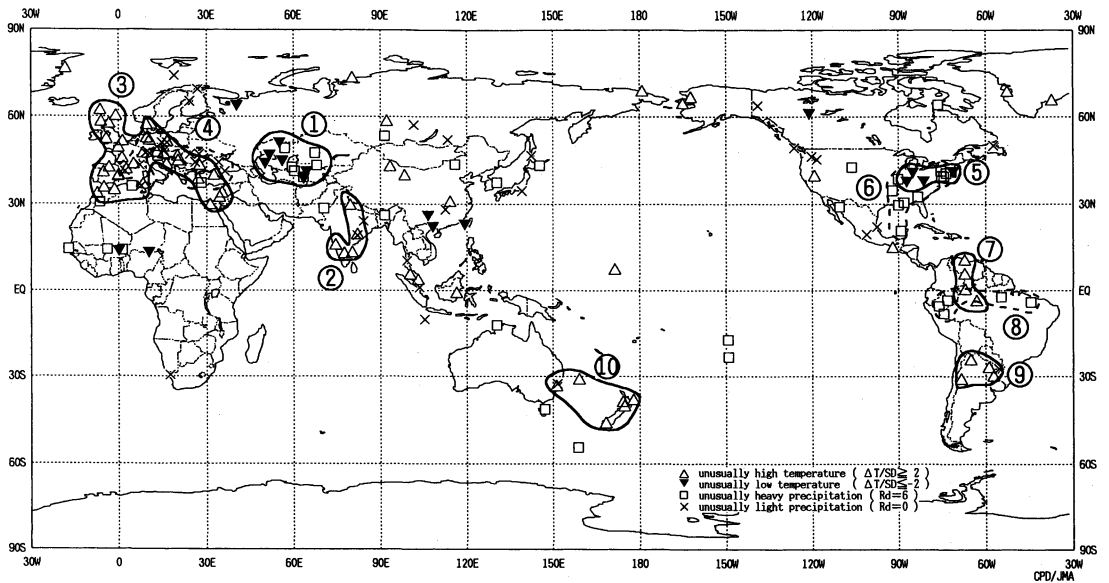
等値線間隔は15 m/s, 陰影部は30 m/s以上, 太実線で囲まれた領域は平年の30 m/s以上の領域を示す。平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2003年6月の月平均850 hPa 高度及び風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2003年6月の月平均200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2003年6月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の
 番号は本文中の番号と対応している.